

口頭発表プログラム (12月21日版)

開始時刻	終了時刻	講演時間	発表者	題目
1日目 [2001年1月11日(木)]				
	9:00		Session 1 (対流圏)	座長：永尾一平
9:00	9:20	0:20	河村公隆 (北大低温研)、Jiasong Fang (Univ. Michigan)、松本公平 (北大低温研)	海洋大気中の脂肪酸の個別安定炭素同位体比：父島における同位体比の分布と季節変動
9:20	9:40	0:20	三浦和彦、原 壮史、宇井剛史、岸田岳士、中江 茂 (東理大・理)、児島 紘 (東理大・理工)、植松光夫 (東大・海洋研)、杉本伸夫 (環境研)	pre ACE-Asia航海における大気エアロゾルの物理計測
9:40	10:00	0:20	斉藤拓也 (北大低温研)、角皆潤 (北大理)、河村公隆、中塚武 (北大低温研)、吉田尚弘 (東工大総合理工)	Pre-ACE Asia航海における揮発性有機化合物の観測
10:00	10:20	0:20	持田陸宏 (科技団)、成川正広、河村公隆 (北大低温研)	西部北太平洋及び西部熱帯太平洋域の粒子状極性有機化合物の測定：Pre ACE-Asia キャンペーンにおける観測結果
10:20	10:40	0:20	Session 2 (成層圏)	座長：竹川暢之
10:40	11:00	0:20	塩谷 雅人、増子治信、真鍋武嗣、笠井康子、落合啓 (CRL)稲谷順司、尾関博之、西堀俊幸 (NASDA TKSC)、鈴木睦、柴崎和夫、辻丸詔、白井知子 (NASDA EORC)高橋千賀子 (FIP) 天竺堯義 (茨城大学)	JEM/SMILES ミッション計画について
11:00	11:20	0:20	笠井康子 (CRL)、高橋千賀子 (FIP)、落合啓、瀬田益道、入交芳久、真鍋武嗣、増子治信 (CRL)、辻丸詔、白井知子、鈴木睦 (NASDA EORC)、尾関博之、稲谷順司、西堀俊幸、中嶋崇、(NASDA TKSC)、高橋けんし (名大STE研)、長濱智生 (名大)、柴崎和夫 (國學院大)、天竺堯義 (茨城大)、塩谷雅人 (北大)	JEM/SMILESによる成層圏大気微量成分の観測
11:20	11:40	0:20	香川 晶子 (奈良女大人間文化)、林田佐智子 (奈良女大理)	1997年冬期北極域における化学的オゾン減少 - 光化学ボックスモデルとILASによる観測値との比較 -
11:40	12:00	0:20	河本 望 (NASDA/EORC)、中島英彰、笹野泰弘 (環境研究所)	ILAS が観測した極渦崩壊時における微量成分分布について (その2)
12:00	13:10	1:10	昼食	
13:10	13:10		Session 3 (成層圏)	座長：塩谷雅人
13:10	13:30	0:20	水田 亮、余田 成男 (京大院理)	南半球中・上部成層圏における極渦の変動と輸送・混合過程
13:30	14:20	0:50	【特別講演】 廣田 勇 (京大理)	南極オゾンホールに関連した南半球成層圏極渦の年々変動
14:20	14:40	0:20	Session 4 (対流圏)	座長：北 和之
14:40	15:00	0:20	谷本浩志 (東大理)、古谷浩志、加藤俊吾 (科技団)、松本淳 (東大理)、Oliver Wild (地球フロンティア)、巻出義紘 (東大アイソトープ)、秋元肇 (地球フロンティア)	利尻島におけるオゾンと反応性窒素酸化物の長期観測(RISOTTO 1999-2000)：季節変化を与える要因について

15:00	15:20	0:20	古谷浩志(科技団)、秋元 肇(地球フロンティア)	化学イオン化質量分析計による実時間型硝酸ガス測定装置の開発と利尻島における連続観測
15:20	15:40	0:20	田中茂、長田幸三、成田祥(慶應理工)、橋本茂、駒崎雄一(科技団)	東アジアから日本近海・離島(隠岐、沖縄)への大気汚染物質の輸送と沈着量の推定
15:40	16:00	0:20	駒崎雄一、橋本茂(科技団)、井上武治郎、成田祥、田中茂(慶應理工)	大気中HNO ₃ ,HClガスの捕集の問題点と拡散スクラバーを用いた新たなモニタリング方法
16:00	18:30	2:30	POSTER SESSION	(1日目2日目とも全ポスターを掲示)
18:30	19:00	0:30	大気化学研究会総会	
19:00	21:00	2:00	懇親会	
			2日目 [2001年1月12日(金)]	
	9:00		Session 5 (対流圏)	座長: 谷本浩志
9:00	9:20	0:20	北 和之、東陽子、近藤豊、宮崎雄三(東大先端研)、川上修司、白井知子、小川利紘(NASDA/EORC)、竹川暢之(名大STE研)、D.R.Blake(California大Irvine) 他BIBLEサイエンスチーム	オーストラリア自由対流圏中でのオゾン分布とバイオマス燃焼の影響
9:20	9:40	0:20	竹川 暢之(名大STE研)、近藤 豊(東大先端研)、小池 真(東大理)、北 和之(東大先端研)、松見 豊(名大STE研)、町田 敏暢(環境研)、西 憲敬(京大理)、D. Blake(UCI)、B. Liley(NIWA)、川上 修司、小川利紘(NASDA/EORC)、北田 敏廣(豊橋技科大)	1999年9月のオーストラリア北部におけるバイオマス燃焼がオゾン及びその前駆物質に与える影響の評価
9:40	10:00	0:20	近藤 豊(東大先端研)、小池 真(東大理)、北 和之(東大先端研)、竹川暢之、松見 豊(名大STE研)、I. Bey, D. Jacob(Univ. Harvard)、川上修司、白井知子、小川利紘(宇宙開発事業団)他BIBLEサイエンスチーム	O ₃ , CO 及びNO _y の分布に及ぼす熱帯太平洋の対流及びバイオマス燃焼の効果: モデルとの比較
10:00	10:20	0:20	北田敏廣、原 智子(豊橋技科大)、西沢匡人(原研東海村)、近藤 豊(東大先端研)	全球化学輸送モデルによるバイオマス燃焼の解析: 1994年インドネシア
10:20	10:40	0:20	Session 6 (対流圏)	座長: 今村隆史
10:40	11:10	0:30	藤原正智、塩谷雅人(北大地球環境)、長谷部文雄(茨城大)、Holger Voemel(NOAA)、Samuel Oltmans(NOAA)、Paul Ruppert(Meteolabor)	SOWER/Pacific: 熱帯上部対流圏-対流圏界面における水蒸気観測
11:10	11:30	0:20	須藤 健悟、高橋正明(東大気候センター)、秋元肇(地球フロンティア)	熱帯域対流圏オゾン分布と変動について: 3-D化学モデル(ナッジング CTM)を用いた考察
11:30	11:50	0:20	鈴木 款(静大理)、桃谷辰也(静大理工)、岩坂泰信、長田和男(名大STE研)	大気中炭素粒子の寿命と降水・霧水中での挙動
11:50	12:10	0:20	松永 壮、河村公隆、持田陸宏、中塚武(北大低温研)	アンニュラーデニューダーを用いた大気中有機成分の採取

12:10	12:30	0:20	定永 靖宗 (東大院理)、廣川 淳 (東大院工)、秋元 肇 (地球フロンティア)	Fe ³⁺ 存在下におけるオゾンと NaCl, 合成海塩の不均一反応によるハロゲン放出の促進
12:30	13:40	1:10	昼食	
13:40	13:40		Session 7 (成層圏/対流圏)	座長: 笠井康子
13:40	14:00	0:20	中元美和、高橋正明・永島達也 (東大気候センター)	太陽活動11年周期変動と成層圏オゾン変化
14:00	14:20	0:20	中根英昭 (環境研)、Vladimir Yushkov (CAO)、Valery Drokhov (CAO)、Alexander Lukyanov (環境研)、小川利紘 (NASDA/EORC)	東シベリアヤクーツクにおけるオゾン層観測 (1995年-2000年)
14:20	14:40	0:20	長浜 智生、福井康雄 (名大院理)、小川英夫 (大阪府大)、中根英昭 (環境研)、森平淳志 (富士通VLSI)	南米チリにおけるClOのミリ波観測
14:40	15:00	0:20	久世暁彦、川島高弘 (NEC) 鈴木睦、柴崎和夫、佐野琢己、小川利紘 (NASDA/EORC)	GCOM-A1衛星搭載ODUSの対流圏オゾン、エアロソル導出アルゴリズム
15:00	18:00	3:00	POSTER SESSION (1日目2日目とも全ポスターを掲示)	